

児童福祉領域 ワーク・ディスカッション online

児童福祉領域※における支援には、多くの困難さがあります。

とりわけ支援対象が過酷な中を生き抜いてきたことから、支援者自身にも相当な負担がかかります。働く環境の難しさもあるかもしれません。

そのような中で、支援者の心が混乱したり麻痺したり、支援の見通しをもつことさえ難しいと感じることは避けがたい場合もあります。

自らの心を使い、考える続けること自体に大きな難しさがある臨床領域ではないでしょうか。

ワーク・ディスカッションは、この時にはこうしたら良いという指導型の学びではなく、参加者が自らの経験や実感を通して話し合う中で、広がりのある理解を得て、再度現場で何とか取り組もうとする姿勢を回復したり維持していくことを支え合う場です。

**困難な中にも関わらず、みなさんが得てきた経験知を共有し、
支え合うグループをいっしょにつくっていきませんか？**

※児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、母子生活支援施設
乳児院、児童家庭支援センター、児童相談所、放課後デイサービス、など

【対象】 児童福祉領域で働く支援者 * 守秘義務を守れる方

【人数】 5～8名程度

【日時】 第2金曜日 20時～22時（5月～2月 年10回・3月は予備日）

【場所】 オンライン @ ZOOM

【費用】 40,000円（税込・分納可2回or4回） * 随時募集（参加時からの料金）

【申込方法】 <https://x.gd/LI4VS>

【ファシリテータ】 吉沢伸一（臨床心理士・公認心理師）

子どもの精神分析的心理療法士（サポチル）

日本臨床心理士会 児童福祉・子育て支援委員会協力委員

日本ワークディスカッション研究会副理事

【問合せ】

Mail: counseling_office_sy@yahoo.co.jp

HP: <https://shinichi-yoshizawa.com/>

